

2026年5月20日

博報堂、Google「Audience Insights API」とシステム接続開始 —生活者データとオンライン行動データのシームレスな連携により、 マーケティングを高度化、北米にて先行する API 活用を日本国内で取り組み開始—

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：名倉健司、以下 博報堂）は、Google が提供する「Audience Insights API」とのシステム接続を開始いたしました。北米にて先行する API 活用の取り組みを日本国内でも開始することで、Google プラットフォーム上の行動データと博報堂 D Y グループ独自の大規模生活者データを統合し、プランニング力とメディア競争力の強化を加速させてまいります。

Google「Audience Insights API」は、Google 検索や YouTube などにおける検索傾向や動画の視聴傾向など、膨大な行動データを統計的に分析できるツールです。個人のプライバシーを保護した状態で、ユーザーの興味関心、購買行動を具体的に可視化することで、より精度の高いマーケティングを可能にします。すでに北米では実用化されており、エージェンシー独自のオーディエンスデータと連携させることで、高度なデータ分析によって生活者のライフスタイルに合わせた最適なマーケティング施策の実現を可能にしています。

本 API へのアクセスにより、博報堂 D Y グループ独自の大規模生活者意識調査データに、Google プラットフォーム上の検索特徴や興味関心といったアクチュアルデータを統合します。

本取り組みを通じて、博報堂は Google との連携を強め、マーケティングパートナーとして、クライアントの広告領域に留まらないマーケティング課題を多角的にサポートしてまいります。

【Audience Insights API への接続が可能にすること】

1. 生活者理解の深化

本連携によりアクセスが可能になる「アクチュアル行動データ」を活用し、生活者理解をより深めます。意識ベースの調査データにとどまらず、生活者の意思決定に大きく影響を与える無意識領域までを含んだ、より包括的な生活者理解を通じて、意識調査データとアクチュアル行動データの2つのデータから多角的なプランニングを行います。

2. プランニングの高度化

生活者が真に興味関心のある領域を起点にコミュニケーションを設計したり、関心のあるコンテンツから情報を伝えるなど、より生活者に即した実効性のあるプランニングを提供することが可能になります。大規模生活者データに加え、API により得られる Google プラットフォーム上のリアルタイムな検索の特徴や意図、動画視聴の特徴や興味関心といったインサイトも戦略プランニングに取り込むことで、戦略策定から広告配信、効果検証までをシームレスにつなげます。さらに、AI エージェント等のテクノロジーを活用し、YouTube をはじめとする各種メディアにおいて、特定のインサイトを持つ層への確にアプローチする提供体制を構築します。

博報堂は今後も、Googleをはじめとする各プラットフォームとのマーケティングパートナーとしての技術連携を拡張し、データとテクノロジーを駆使してクライアントごとに最適化された価値提供を続けてまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 戸田・大野 koho.mail@hakuodo.co.jp